

令和元年7月20日

関係各位

立正大学地球環境科学部長
鈴木 厚志

教員公募について（依頼）

時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学部では、下記要領により環境年代学・環境地学分野の教員（令和3年4月1日の採用）を公募することになりました。つきましては、関係各位に周知方よろしくお取り計らいくださいますようお願い致します。

記

1. 職名及び人員 准教授もしくは講師 1名
2. 採用予定日 令和3年4月1日（木）
3. 任期 任期なし（本学の現在の定年は70歳です）
4. 所属 地球環境科学部環境システム学科（立正大学 熊谷キャンパス）
5. 専門分野 環境年代学・環境地学
6. 職務

地圈環境学概論（分担）、地球環境システム論、地学I、環境地質学、固体地球物質環境学、セミナー、セミナーの基礎、卒業研究指導（卒業論文含む）等の授業担当、および全学・学部・学科内の職務分掌。
採用決定後の大学院地球環境科学研究科教員資格審査の結果に基づく、博士課程（前期・後期）の授業担当、および研究科の職務分掌。
7. 給与
立正大学学園給与規程に基づく。
8. 応募資格
 - (1) 立正大学および立正大学地球環境科学部の教育目的に沿って教育活動を行える者。
 - (2) 理学博士またはこれと同等の学位を有する者。
 - (3) 本学科に設置しているゲルマニウム半導体検出器の保守・管理を行うため、第一種放射線取扱主任者免状を有することが望ましい。
 - (4) 環境年代学的研究を主導した経験と、職務遂行に必要にして充分な研究業績を有するとともに、環境システム学に適合する研究計画を有する者。
 - (5) 自身の研究活動だけでなく、学生指導・教育活動や職場の職務分掌にも積極的に熱意と誠意を持って取り組める者。
 - (6) 国籍は問わない。ただし、日本語を母語としない場合は、教育及び学内業務を遂行可能な十分な日本語能力を有すること。
 - (7) 着任後、熊谷校舎から距離100km以内、通勤時間2時間以内の場所に居住できる者。
9. 応募締切日 令和元年8月23日（金）必着
10. 応募書類
 - (1) 履歴書（市販様式で可、写真添付、住所・連絡先（電話番号およびメールアドレス）、高等学校以降の学歴、学位および学位記番号、職歴、所属学会、社会活動、賞罰を記載すること。）
 - (2) 教育研究業績リスト（著書・論文および査読の有無で区分すること）および教育研究業績を代表する5編の査読付き論文等の別刷又はコピー各1部（別刷やコピーは返却しませ

ん)

- (3) これまでの研究概要（約 2,000 字）
- (4) 本学採用後の教育・研究に対する抱負（約 2,000 字）
- (5) 応募者の人物等について意見を伺うことができる方 2 名の氏名、連絡先（メールアドレス）等
- (6) 健康診断書（発行後 3 ヶ月以内で国公私立病院または保健所発行のもの）
※応募時には必ずしも提出頂く必要はありませんが、書類選考に残られた場合に実施する面接当日には必ずご持参願います。

1 1. 書類の提出先

〒360-0194 熊谷市万吉 1700 立正大学地球環境科学部 学部長 鈴木厚志 宛

※ 応募書類の封筒には「環境年代学・環境地学分野教員応募書類在中」と朱書し、必ず書留郵便で郵送してください。提出書類は原則として返却しません。

1 2. その他

- (1) 書類選考に残られた方 1~2 名を対象に令和元年 9 月 3 日（火）に面接を行う予定です。
(旅費は支給致しません。)
- (2) 立正大学および立正大学地球環境科学部の教育目的については、以下の URL をご参照ください。

http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/geo/policies.html

- (3) 現在、地球環境科学部環境システム学科環境地学分野には以下の 4 名が所属しています。
教授 平井壽子※（固体地球化学） 教授 川野良信（環境岩石学）
准教授 北沢俊幸（地形地質環境） 助教 下岡順直（環境年代学）
※後任を本公募により任用する予定です。
- (4) 採用内定後、以下の大学院教員資格審査を受けていただきます。
立正大学大学院地球環境科学研究科環境システム学専攻博士課程（前期）
立正大学大学院地球環境科学研究科環境システム学専攻博士課程（後期）

（5）応募に関する問い合わせ先

〒360-0194 熊谷市万吉 1700 立正大学地球環境科学部環境システム学科

教授 川野良信 E-mail: kawanoy@ris.ac.jp

以上